

焦点深度拡張型 眼内レンズ

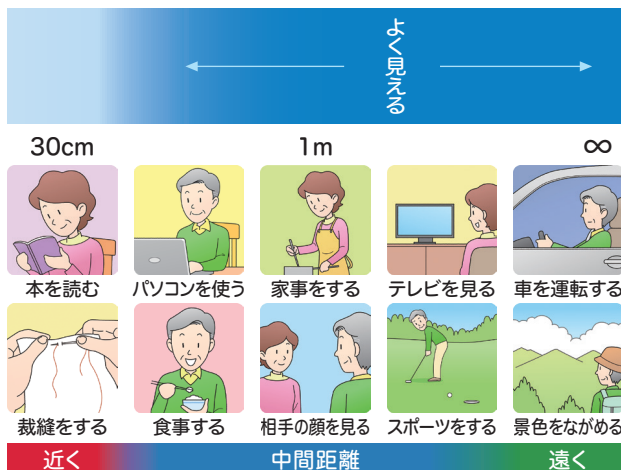
乱視矯正型

特長

焦点(ピント)の合う距離の範囲が広く設計されている
多焦点眼内レンズ



焦点が合う距離 (裸眼でよく見える距離)



メリット(優れている点)

- コントラストが高く、明るく見やすい
- 焦点が合う距離の微調整が可能
- 視力が手術翌日から出る場合が多い
- 乱視の矯正が可能

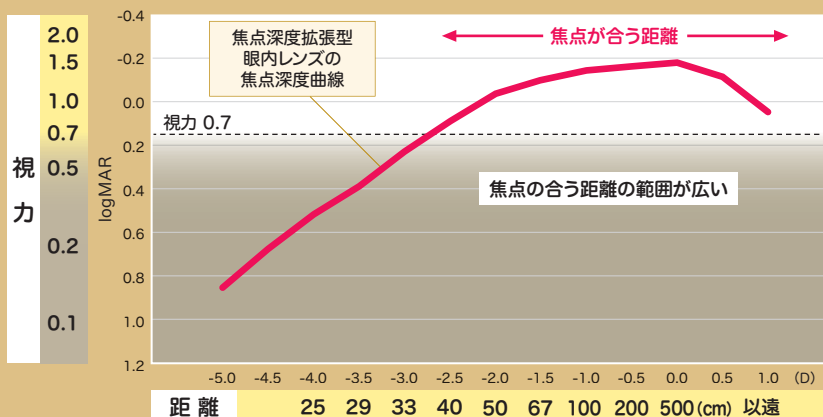
デメリット(課題となる点)

- 夜間の運転時にまぶしく感じる場合がある
- 眼鏡が必要な場合がある

患者様ご負担金額 (片眼)

円

「焦点深度拡張型 眼内レンズ」で焦点が合う距離



多焦点眼内レンズの見え方の注意点

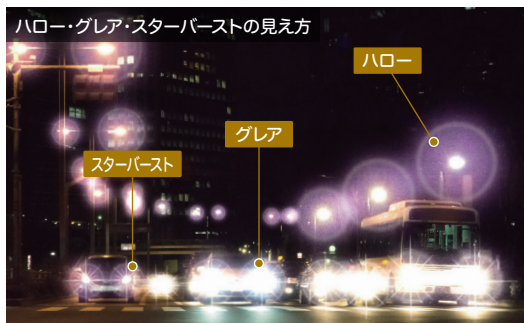
術後に**コントラスト**感度が低下することがあります。



夜間に**光視症**(ハロー・グレア・スターバースト)を感じる場合があります。



- ハロー 光のまわりに輪がかかって見える
- グレア 光がギラつきまぶしく感じる
- スターバースト 光が放射状に広がって見える



ご注意

●多焦点眼内レンズは、特有の症状が出ることもあり、術後視力が出ない、強い光視症症状があるなどの場合は、単焦点眼内レンズへ摘出交換する場合があります(自費負担)。●多焦点眼内レンズの処方においては、患者様のライフスタイルをお聞かせいただき、各レンズのメリット・デメリットを説明させていただきます。お気軽にご相談ください。